

2011年2月4日  
奈良県吉野町  
イオン株式会社

## 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」吉野山の桜を保全 「吉野さくらWAON」発行について

奈良県吉野町（町長：北岡 篤）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田 元也）は、この度、吉野町の産業振興、観光振興および地域の発展を目的とした提携について合意しましたのでご案内申し上げます。

本提携の第一弾として、2011年3月下旬よりイオン株式会社の電子マネー「WAON」に吉野千本桜をデザインした「吉野さくらWAON」を発行します。

「吉野さくらWAON」は、カードの表面に吉野が誇る「吉野千本桜」を冠し、裏面には、吉野山のシンボルである、世界遺産「金峯山寺蔵王堂(国宝)」を配しています。蔵王堂は、吉野山から大峰山にいたる山々の総称である金峯山の高台にそびえたち、東大寺大仏殿に次ぐ木造の大建築です。

当カードがイオンの店舗やファミリーマート、マクドナルド、吉野家など全国95,500箇所へのぼるWAON加盟店で利用された売上金の一部をイオンから「吉野桜基金」に寄付させていただき、吉野山の桜の保全に役立てていただきます。

吉野山は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に位置づけられていると同時に、春には3万本もの桜が咲き乱れる日本でも有数の桜の名所でもあります。

吉野には年間140万人の観光客が訪れ、街道には数多くの観光スポットや古寺史跡が点在しています。今後、「吉野さくらWAON」での決済に加えカードの別機能を活用し、訪れたお客さまに観光をより楽しんでいただけるよう観光施設の割引などの特典サービスを実施してまいります。

今後、両者は、「吉野さくらWAON」を通じて、吉野の観光振興や吉野ブランドの向上、環境保全活動、吉野町の物産の拡販などに取り組んでまいります。

## 1. 「吉野さくらWAON」の概要

販売開始：2011年3月下旬

販売場所：西日本エリアを中心としたジャスコやサティなど約70店舗  
及び吉野町の加盟店

3月1日にジャスコとサティの店名は「AEON(イオン)」に統一し、  
よりお客さまにご満足いただける、地域に密着した店舗を目指し新しい  
スタートを切ります。

販売目標：初年度3万枚

吉野地区加盟店：観光施設やお土産店、宿泊施設等で導入し、その後順次拡大

地域貢献：当カードが全国のWAON加盟店で利用された売上金の一部が吉野山の  
桜の保全活動に役立てられます。

## 2. 「WAON」の概要(2010年12月末現在)

累計発行枚数：約1,770万枚

月間利用件数：約4,730万件

月間利用単価：約1,900円

利用可能店舗数：約95,500箇所

## 「吉野さくらWAON」のカードデザイン

